

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線診断科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2024年1月1日～2028年8月31日の間に、虎の門病院に入院・通院し、放射線診断科によるIVR(インターベンショナルラジオロジー：別名放射線カテーテル治療)処置を受けられた方

【研究課題名】

日本インターベンショナルラジオロジー学会における症例登録データベース事業

【研究の目的・背景】

IVR(放射線カテーテル治療)は、X線透視や、CT、超音波検査などの画像をみながらカテーテルを用いて治療を行う手技です。低侵襲な治療として、その評価は高く、とくに患者のQOLの維持、入院期間の短縮など医療経済にも寄与していると考えられていますが、その実態は十分に把握できていません。現在、日本IVR学会では「IVR症例Web登録」として、学会員の実施したIVR症例を、インターネットを介してデータベースに登録して、現状の把握に利用しています。その内容の詳細な解析には得られたデータから更なる解析が進められる必要があります。

本事業の目的はIVRの症例情報を集計・登録することにより、我が国におけるIVR診療の現状を明らかにすることにあります。さらに、会員個人、修練施設における登録を分析して、IVR専門医の育成、修練施設の増加など、今後のIVR診療の進歩・普及を図ることを目的としています。また集計されたデータを外保連経由で厚生労働省の診療報酬改定の際に用いられることも目的の一つとしています。

【研究期間】

2024/5/27～2028/12/31

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては学会のデータベースに登録しません。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は日本IVR学会において研究終了後5年間保管いた

します。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、IVR 学会が委託した企業のサーバー内に保管します。

情報の登録は SSL を用いて保護された通信を介して行われます。保管するサーバーは 24 時間 365 日監視されており、また、ウイルスおよび不正アクセスの対策が施されており、かつサーバーの二重化がなされています。

診療情報の保管先：株式会社ウェブインパクト

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 2-2-2 神田須田町ビル 10 階

TEL：03-3526-6360

【利用する診療情報】

診療情報： 年齢、性別、行った術式名、治療した疾患名、術者名、助手名、指導監督医名、協力医師数、協力看護師数、協力技師数、IVR 室占有時間、手技時間、使用機器、手技の成否、合併症の有無、保険未・非償還材料使用、緊急性、指導医、症例検討記録の有無

【研究代表者】

兵庫医科大学 ・ 放射線科 ・ 山門亨一郎

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：放射線診断科 ・ 伊藤大輔

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

日本 IVR 学会の各修練施設

https://www.jsir.or.jp/member_doc_place/senmonishisetu/

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2028年11月30日までの間に下記の相談窓口までお申

し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線診断科 ・ 伊藤大輔

電話 03-3588-1111(代表)